

関連項目：教育活動プラン②、③、④

## 人とつながる喜びを味わわせる

### 目的

本校の児童は、言われたことを素直に実行しようとする児童が多い。また、小規模校で、固定化された人間関係の中で、自分の思いを言葉で伝えなくても分かり合えることもある。しかし、自分の思いをどう伝えればよいかわからなかったり、相手を意識せずに話したりすることで、トラブルになることが増えつつあり、解決に教師の支援を必要とする場面がある。

そこで、授業の中で、「聞く力」「話す力」の育成と「話し合いにおけるスキル」の習得を目指して人との関わり方を身に付けたり、縦割り色別活動の場で人間関係づくりを充実させる場面を仕組んだりしながら、子どもたちに人とつながる喜びを味わわせることにした。

### 内容

#### ● 「話し合い活動」を積極的に取り入れた授業研修

- (1) 発達段階に応じた話し合いの場における「話し方」や「聞き方」のこつを作成し、教室の前面に掲示しておく。また、発表の話型や話し合いの手順についても各学年で作成した。
- (2) 教師が、授業の中で、自分の考えと友達の考えを交流させる場をどのように仕組んでいけば、子どもにとって学び合うことの楽しさを味わわせることができるかを現職教育で研修してきた。

話し方	聞き方
① 友達の方を向いて	① 友達の方を向いて
② 最後まで話を最後まで	② 相手を最後まで聞いて
③ 友達の考えと比べながら「話しましよう。」	③ 自分の考えをぐぐりながら
④ 考えた理由も話しましよう。	④ 「ちんぷんぷんぷん」がわかってきたら、「んんん」と思いついたら、「んんん」と聞かせよう。
(ア) 「○○○○」で質問して「すか。」	(ア) 「○○○○」で質問して「すか。」
(イ) 「はやく□□□□のゆわが、うん、すか。」	(イ) 「はやく□□□□のゆわが、うん、すか。」
(エ) 「それは…なのよ。」	(エ) 「それは…なのよ。」

#### ● 「聞く力」「話す力」を培う集会活動 ～ 人の生き方を学ぶ・自分の思いを表現する ～

毎週月曜の朝のミニ集会では、委員会や学年からのお知らせもあるが、校長だけでなく、先生方からも話している。話す内容は、人としての生き方を感じるもの・子どもたちが今後の生活に生かせるものなど、子どもが興味を示し、心に響くものを意識している。子どもたちは、教師の顔を食い入るように見つめ、真剣に聞き取ろうとしている。集会活動の時間は、子どもたちに「聞くこと」を通して、心づくりをする場と考えている。

また、相手によくわかるように話すことを意識して、委員会からのお知らせやお願い・各学年の紹介をする時間も大切だと考え、自信をもって話せる子どもを育てる機会としている。

#### ● 人とつながる喜びを味わう縦割り色別活動の充実

本年度は、人間関係づくりの充実を図るために体力づくりや清掃・給食に縦割り色別活動を組み入れた。上級生として下級生に対してどのように接していけばいいのか、下級生は、上級生の姿から何を感じるのか、実際の活動を通して学ばそうと考えた。縦割り色別活動を通して、いろいろな問題が起こるが、教師が支援者となって、人との関わりの中で、上級生を慕う下級生、下級生が憧れる上級生を育てていく。子どもたちは、相手の気持ちの理解や、気持ちを考えた言葉かけができるようになるために、授業で学んだ「話し合いのスキル」を生かしながら、人と接している。

### 成果

長なわに入れたい子を入れるまでにする過程・清掃の分担の話し合いや実働の中での様々な問題の解決・給食の分担の話し合いや食べられない子への関わりなど、上級生、特に、リーダーである6年生にとっては、負担に感じることもある。また、下級生は、甘える行動も多々ある。しかし、時間が経つにつれて、子どもたちは、優しさと厳しさをもちながら関わり合うことができるようになってきた。子どものアンケートの「縦割り活動は楽しいですか。」の問いに対して肯定率は、1・2年生は9割強、3・4年生は9割、5・6年生は9割強であった。教師の自己評価は、A評価だった。